

## 令和4年度事業報告概要

令和4年度は、定時社員総会において役員の改選があり、新会長・新役員の新しい体制のもとで観光振興事業に取り組みました。ただ新型コロナウイルス感染症の蔓延による約3年の間の度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置など、外出はもとより人との交流さえも当たり前にはできない状況下で本協会、事業者はやむなく休業や時短営業等により経済活動に非常に大きな打撃を受け、その状況が尾を引く中でのスタートとなりました。

秋以降、コロナの影響も落ち着き海外からの入国制限の緩和や国内の「全国旅行支援」も追い風になりましたが、伊賀流忍者博物館の入り込み実績は前年の154%と増加したものの、コロナ前の水準には戻っていない状況です。(2018(平成30)年度:180,431人の52%)伊賀地域の観光産業の本格的な再開・再始動は引き続き厳しい年度となりました。

本協会も、引き続き国の雇調金などを活用しながら事業を進めました。また三重県の「みえ得トラベル地域応援クーポン」や、伊賀市の生活支援・消費活動促進の「伊賀流プレミアム付お買い物券」などのコロナ対応の事業を推進しました。

また、三重県と連携して海外旅行事業社とのオンラインでの商談会、また海外でのリアル開催のプロモーションにも積極的に参加するなどコロナ後の外国人観光客の獲得に向けた誘客に努めました。

広域連携の取り組みとしては、令和3年度まで本協会を含めた県内5つの観光協会で開催した「伊賀・亀山・津・松阪・鳥羽 城郭めぐりスタンプラリー」に桑名市、玉城町が新たに加入し、県内7つの観光協会で開催した「桑名・伊賀・亀山・津・松阪・玉城・鳥羽 城郭めぐりスタンプラリー」としてレベルアップし県内回遊する企画も引き続き好評でした。

国(観光庁)が推進する「観光地域づくり法人(DMO)」では、必要なマーケティングを行い、そのデータ分析を様々な関係者と合意形成・情報共有を進めました。本年度も「観光まちづくり企画塾(第4期)」を開催して人材育成に関する取り組みや観光庁の「看板商品創出事業」の活用、県のDX推進補助金を活用した伊賀全体の情報発信のWEB一元化に向けた施策など着地型観光や観光振興事業・情報発信事業を進めました。そして中心市街地のまちなか回遊事業の「心・技・体 伊賀忍者道場」が新型コロナにより近年なかなかスタートが切れませんでした。ようやく通年開催のスタートをすることができました。

また、伊賀流忍者博物館の忍術ひろば上屋テントの老朽化から貼り替え改修工事、観光庁のサポートを受けながら忍者博物館の受入メニューの造成を行うなどコロナ後を見据えた取組も行いました。

本年度は、新型コロナの影響に加え物価の高騰、人手不足など新たな課題も生じ前年度に引続き厳しい運営を迫られ、引き続き本協会の収益を回復させることを最優先に活動しました。そしてコロナ収束後の観光客を受け入れる準備、誘客事業等を展開し持続可能な観光振興事業の取り組みを進めた年となりました。

# 令和4年度事業報告書

## 1 観光資源の開発及び保存

- |   |       |
|---|-------|
| (1) 「日本遺産 忍びの里 伊賀・甲賀ーリアル忍者を求めてー」忍びの里伊賀甲賀忍者協議会への参画 | 通年    |
| (2) 忍者(忍術)を生かした誘客事業                               | 通年    |
| ・デジタルミュージアム秘蔵の国 伊賀 (デジタルアーカイブ事業)                  |       |
| ・株式会社フジヤとの「忍泊」企画 (伊賀上野シティホテル: 忍者ルームリニューアル監修)      |       |
| (3) 伊賀流忍者博物館(忍者屋敷及び忍者ショーステージ)の改修                  | 通年    |
| ・忍術ひろば 上屋テント貼り替え改修工事                              | 5年 1月 |

### 総括

忍びの里伊賀甲賀忍者協議会への参画により両地域でしか取り組めない「リアル忍者」事業を行うほか、2025年大阪・関西万博を見据え大阪観光局との連携協定を協議会として結び、忍者を活かした誘客事業を進める足がかりとして2月22日に情報発信を行った。

市との連携で「デジタルアーカイブ事業」により忍者の古文書のWEB公開、またコロナ下の新たな取り組みとして事業者との連携により「忍泊」事業を進め、施行第1例目として市内のホテルの3室をプロデュース・監修する事ができた。

そして、伊賀流忍者博物館忍術ひろばの上屋テントの老朽化に伴い貼り替え改修工事を行った。

## 2 観光客の誘致促進

- |  |   |        |
|--|---|--------|
| (1) 宣伝印刷物の作成配布                             |   |        |
| ア 各パンフレットの在庫分で配布対応                         |   | 通年     |
| (2) インターネットによる観光情報の発信                      |   |        |
| ア 「伊賀流忍者博物館」ホームページ                         | <a href="http://iganinja.jp/">http://iganinja.jp/</a>   | 通年     |
| イ 「伊賀上野観光協会」ホームページ                         | <a href="http://www.igaueno.net/">http://www.igaueno.net/</a>   | 通年     |
| ウ 「忍者流忍者博物館」facebookページ                    | <a href="https://www.facebook.com/">https://www.facebook.com/</a>   | 通年     |
| エ 「伊賀上野観光協会」facebookページ                    | <a href="https://www.facebook.com/igaueno22/">https://www.facebook.com/igaueno22/</a>   | 通年     |
| オ 「忍者流忍者博物館」Instagramページ                   | <a href="https://www.instagram.com/igaryu_ninja_museum_official/">https://www.instagram.com/igaryu_ninja_museum_official/</a> | 通年     |
| カ 伊賀ポータルによる観光情報や動画の配信                      | <a href="http://www.igaportal.co.jp/">http://www.igaportal.co.jp/</a>   | 通年     |
| キ 「IGA Official Travel Guide」(多言語)         | <a href="http://www.iga-travel.jp/">http://www.iga-travel.jp/</a>   | 通年     |
| (3) 観光キャンペーンの実施                            |   |        |
| ア 忍びの国伊賀 オススメお昼ご飯処キャンペーン                   | 【資料1 10ページ】   | 通年     |
| イ 伊賀牛炙り丼キャンペーン                             |   |        |
| (4) 報道・メディア関係等の取材協力、企業・団体への協力              |   |        |
| ア 観光PR用画像データの収集・貸出                         |   | 通年     |
| イ 報道関係に対する情報発信及び受入                         |   | 通年     |
| (5) 外客の開発                                  | 【資料6 15ページ】   |        |
| ア 三重県外国人観光客誘致促進協議会に参画                      | 三重県   | 通年     |
| イ 海外プレス及び観光エージェントへの宣伝活動                    |   | 通年     |
| (ア) 台湾レップ(オンライン)                           |   | 4年 8月  |
| (イ) 台湾旅行AGT                                |   | 4年 8月  |
| (ウ) VISIT JAPANトラベル&MICEマート 2022(東京ビッグサイト) | 日本政府観光局ほか   | 4年 9月  |
| (エ) MATTA Fair 2022(マレーシア)                 |   | 4年 9月  |
| (オ) 三重県タイレップ                               | 三重県海外誘客課  | 4年 9月  |
| (カ) クルーズ船企画担当者ファム                          |   | 4年 10月 |
| (キ) アップルトラベルフェスタ(マレーシア)                    |   | 4年 10月 |
| (ク) 台湾オンライン商談会                             | 三重県海外誘客課  | 4年 12月 |
| (ケ) 台湾現地メディア向け情報発信                         | 三重県海外誘客課  | 4年 12月 |
| (コ) イギリスインフルエンサー取材対応                       | JNTOロンドン事務所   | 5年 2月  |
| (サ) MATTA Fair March 2023(マレーシア)           |   | 5年 3月  |
| ウ 受入メニュー                                   |   |        |
| (ア) 忍者パック(広域連携パッケージツアー商品)受入                |   | 通年     |
| (イ) インバウンド向けツアー販売(奥ジャパンサイト内)               | 関西観光本部  | 通年     |

### 総括

コロナ禍においての日々変わるタイムリーな情報発信を ホームページやSNSなど様々なツールで行うことができた。また海外エージェント、メディアはもとより、三重県と協力しオンライン商談会への参加や、秋以降世界的にコロナの収束対応が進み、担当者を海外へ派遣して伊賀の情報発信が行えその後のインバウンドの受入に繋がった。

### 3 観光行事の実施とイベントの企画及び支援

(1) 観光行事の実施(主催事業)			
ア 忍者供養回向(忍者博物館職員のみで実施)	伊賀流忍者博物館	4年	4月
(2) 誘客事業・イベントの企画(主催 共催)			
ア 「忍者の日」キャンペーン	日本忍者協議会	5年	2月
イ 伊賀・亀山・津・松阪・鳥羽城郭めぐりスタンプラリー ※伊賀上野・津・松阪・鳥羽・亀山の観光協会で実施			通年
ウ 伊賀流忍者教室(場所:だんじり会館ほか)			通年
エ 名鉄観光リアル謎解きゲーム「マチ探」	名鉄観光サービス(株) 上野商工会議所 (一社)伊賀上野観光協会		通年
・大阪府立柴島高等学校(4/28) ・桑名市立長島中学校(5/29) ・いなべ市立藤原中学校(10/28) ・田原教職員組合青年部(12/27) ・四日市市立笹川中学校(2/15)	合計:551人		
オ 忍者変身処	だんじり会館		通年
カ 伊賀忍者回廊 伊賀忍者ゆかりの神社仏閣御朱印めぐり			通年
キ 忍者おみくじ(敢国神社、愛宕神社、伊賀流忍者博物館)			通年
(3) 事業・イベント支援(後援 協力 出展)			
ア 伊賀上野NINJAフェスタ	伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会		通年
イ みんなで応援!みえで使って、もらって・キャンペーン	みえ観光の産業化推進委員会		通年
ウ 伊賀の里歴史ウォーキング		4年	4月
エ 三重県フェアinイオンレイクタウン越谷		4年	6月
オ 伊賀市プレミアム付お買い物券	伊賀市内地域経済活性化事業実行委員会	4年	7月 ～ 1月
カ 伊賀市市民花火大会		4年	7月
キ お城の周りライトアップイベント		4年	8月
ク 伊賀焼陶器まつり		4年	9月
ケ ツーリズムEXPO JAPAN2022(東京ビッグサイト)	日本政府観光局ほか	4年	9月
コ 関ヶ原武将イベント(岐阜県)		4年	10月
サ 上野天神祭		4年	10月
シ 忍者トレイルランニングレース		4年	11月
ス 三重県フェアinイオン幕張新都心(千葉市)		4年	11月
セ 伊賀流忍者観光推進協議会(イオン京都桂川)		4年	12月
ソ みえ旅おもてなしポイントプログラム	みえ観光の産業化推進委員会		通年
タ 歴史まちづくりカード配布(伊賀上野インフォメーションセンター)	国土交通省中部地方整備局		通年
チ イヤーラウンドコース「伊賀上野芭蕉の散歩道コース」	(一社)日本市民スポーツ連盟		通年

#### 総括

恒例の主催行事やまちづくり・観光関連団体との共催・協力などコロナ下の中で様々な取り組みを行った。そしてコロナ対応の「伊賀市プレミアム付お買い物券事業」に参画し窓口販売を行うなど地域の貢献事業も行った。また、「マチ探」など教育旅行(学校団体)の受け入れを引き続き行った。

### 4 観光事業の調査研究及び観光情報の収集・発信

(1) 伊賀上野観光インフォメーションセンターの設置	通年
(2) 会員ネットワーク構築による連携強化	通年
(3) 伊賀地域内の観光振興団体との連携強化	通年
(4) 伊賀地域のまちづくり団体との交流	通年

#### 総括

観光案内業務を中心に窓口、電話、メール対応を行うほか、会員からの情報提供や伊賀地域内の観光振興団体等との連携により、多方面への発信を行った。

## 5 観光事業従事者の資質向上と地域リーダーの育成

- |                   |       |    |
|-------------------|-------|----|
| (1) 学芸員の資格取得      |       | 通年 |
| (2) 伊賀学検定         | 5年 2月 |    |
| (3) その他セミナー、講習会参加 |       | 通年 |

### 総括

伊賀学検定への協力・職員の受験支援を行うなど観光関係者・スタッフの人材育成に努めるとともに個人・組織の資質向上に努めた。

## 6 観光客の受入・おもてなしの推進

- |                       |             |    |
|-----------------------|-------------|----|
| (1) 観光客受入事業           |             |    |
| ア まちかど観光案内所           | 【資料3 12ページ】 | 通年 |
| イ 忍者変身処               | 【資料5 14ページ】 | 通年 |
| ウ モバイルWi-Fiルーターレンタル事業 |             | 通年 |
| エ ばったり床几の設置【新設は終了】    |             | 通年 |
| (2) おもてなし啓発事業         |             |    |
| ア いがうえの語り部            |             |    |
| (ア) 語り部依頼受付サポート       |             | 通年 |

### 総括

観光客受入事業では市内店舗を中心とした「まちかど観光案内所」、「忍者変身処」の設置など観光客の受け入れ態勢の整備を継続して実施した。おもてなし啓発事業では、「語り部」がスムーズに観光客の受け入れを行えるようサポートを行った。

## 7 地域文化・天然資源の継承と文化的地域特性の創造

- |   |  |    |
|---|--|----|
| (1) 伊賀流忍者博物館の施設機能の充実                                      |  |    |
| ア 学芸員の育成  |  | 通年 |
| イ 忍術関連資料の充実   |  | 通年 |
| ウ 特別展スペースの確保と備品の購入  |  | 通年 |
| エ 施設整備  |  | 通年 |
| (2) 三重大学 伊賀連携フィールド 忍者文化協議会                                |  | 通年 |
| ア 国際忍者研究センター  |  | 通年 |
| イ 国際忍者学会  |  | 通年 |
| (3) 各種団体の協力   |  | 通年 |
| 【視察協力】・三重県知事訪問(6/27)・津商工会議所 観光文化集客部会(オンライン)(6/22)         |  |    |
| ・和歌山大学(1/11)・岸和田市(2/6)                                    |  |    |
| 【研修協力】・岡波看護専門学校(入学生向講義)「地域学」(5/13)・パラオ農業人材招聘事業【三重県】(9/15) |  |    |
| ・上野ロータリークラブ例会卓話(9/27)・愛知学院大学(田村ゼミ)(11/9)                  |  |    |
| (4) その他   |  |    |

### 総括

伊賀流忍者博物館の充実や三重大学伊賀連携フィールドへの協力、そして「伊賀上野」の文化、歴史や現在の協会の取り組みなどを、視察・研究を行いたいと各種団体からの要望により受け入れ・協力を行った。

## 8 地場産品の商品開発と販売促進

- |                      |             |    |
|----------------------|-------------|----|
| (1) だんじり会館(地場産買物処)   | 【資料5 14ページ】 | 通年 |
| (2) 伊賀流忍者博物館(NINJA坊) | 【資料5 14ページ】 | 通年 |

### 総括

各施設の特性に応じた販売方法や環境を整え、地場産品の各個店のアンテナショップ的な役割を果たすほか、施設の収益力・魅力アップを図っている。本年度は全国旅行支援に伴うクーポンの利用により売上が向上した。(一般旅行者の利用、学校単位での使用による土産物のセット依頼等)

## (1) 公益団体との連携

## ア 三重県

- (ア) 三重県外国人観光客誘致促進協議会
- (イ) 三重県東京事務所(三重美し会)・関西事務所ほか
- (ウ) リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会
- (エ) 三重県営業本部地域別懇談会 ほか

## イ 伊賀市

- (ア) 伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会
- (イ) 伊賀市国際交流協会
- (ウ) 伊賀鉄道活性化協議会
- (エ) 伊賀市中心市街地活性化協議会
- (オ) JR関西本線利用促進と電化を進める会
- (カ) 伊賀ブランド推進協議会
- (キ) 伊賀市地域公共交通交通活性化再生協議会
- (ク) うえのまちまちづくり協議会
- (ケ) 伊賀上野シティマラソン実行委員会
- (コ) 伊賀山城南定住自立圏共生ビジョン策定委員会
- (サ) お城の周りライトアップ実施委員会
- (シ) 「忍びの里 伊賀」創生プロジェクト会議
- (ス) 上野城新能実施委員会
- (セ) 伊賀上野・城下町のおひなさん実行委員会
- (ソ) 観光・文化施設調整会議(コロナ対応)
- (タ) 伊賀市文化財保存活用協議会
- (チ) 伊賀市人権学習企業等連絡協議会
- (ツ) 伊賀市文化振興審議会 ほか

## ウ 公益社団法人日本観光振興協会

## エ 公益社団法人三重県観光連盟

- (ア) 会長が理事職
- (イ) 事務局員が企画宣伝委員会委員

## オ 全国京都会議

## カ 三重県博物館協会

## キ 上野商工会議所

- (ア) 伊賀市中心市街地活性化協議会
- (イ) 伊賀学検定実施委員会
- (ウ) 上野天神祭地域振興実行委員会
- (エ) 市民夏のにぎわいフェスタ2022実施委員会
- (オ) 伊賀上野灯りと忍びの城下町実施委員会
- (カ) 観光部会・NAVIGA ほか

## ク 株式会社まちづくり伊賀上野

- (ア) いがぶら実行委員会

## ケ 公益財団法人芭蕉翁顕彰会

## コ 公益財団法人伊賀文化産業協会

## サ 一般社団法人大山田温泉福祉公社

## シ 三重大学

- (ア) 三重大学伊賀連携フィールド ほか  
(国際忍者研究センター・国際忍者学会)

## ス 上野観光連盟(東京都台東区)

## セ 名阪国道及び国道25号線整備促進期成同盟会

## ソ 伊賀地区職域防犯連合会

## タ 伊賀市防火協会

## チ 川上ダム地域連携PT会議

## ツ テロ対策伊賀パートナーシップ ほか

- 広域連携
- テ 大阪観光局
  - ト 甲賀市・甲賀市観光協会・信楽町観光協会
  - ナ 伊賀流忍者観光推進協議会  
(伊賀市・名張市・伊賀上野観光協会・名張市観光協会・三重県・三重大学伊賀連携フィールド)
  - ニ 日本忍者協議会
  - ヌ 中伊勢温泉郷観光推進協議会
  - ネ 忍びの里伊賀甲賀忍者協議会  
(伊賀市・甲賀市・伊賀市教育委員会・甲賀市教育委員会  
・伊賀上野観光協会・甲賀市観光協会・信楽町観光協会)
  - ノ 伊賀上野観光協会・松阪市観光協会・鳥羽市観光協会・津市観光協会  
・亀山市観光協会・桑名市観光協会・玉城町観光協会
  - ハ 鈴鹿国定公園協会
  - ヒ 歴史街道推進協議会 ほか

(2) 観光エージェントとの連携

- ア 観光券取扱業務の推進 通年
- イ JTB等の誘客促進会に入会

**総括**

本協会の特性を生かし多様な関係者と連携を図り、その運営や事業に参画・協力を行った。

10 観光施設の指定管理業務と観光案内所業務の受託、および施設管理

- |              |                                   |    |
|--------------|-----------------------------------|----|
| (1) 伊賀流忍者博物館 | 【資料2 11ページ】【資料5 14ページ】【資料6 15ページ】 | 通年 |
| (2) だんじり会館   | 【資料5 14ページ】                       | 通年 |
| (3) 伊賀伝統伝承館  |                                   | 通年 |

**総括**

伊賀流忍者博物館を自主運営し、その収益により観光振興事業を行っている。また、伊賀伝統伝承館では伊賀の伝統的工芸品及び伊賀市の観光振興を図る目的で開設し、運営管理のサポートを行っている。だんじり会館については、効率的な施設管理を行い、観光協会の事業と一体的な観光推進事業を行うよう務めた。

11 支部の連携

- (1) 島ヶ原支部、阿山支部、伊賀支部、大山田支部、青山支部

**総括**

各エリアの現地情報の収集を行い、HPの統合管理や広域周遊に向けた統合事業を実施した。

12 日本版DMO法人の認定とその事業の推進

(1) DMO推進体制関連業務

- ア タビナカマーケティングデータ収集・分析
  - ・DMO 内部人材、構成機関メンバーのデータ分析スキル向上 通年
  - ・アンケートデータ分析の完全内製化に向けた取り組み 通年
- イ スマホアンケートシステムを使用したマーケティング調査関連業務(KPI必須項目取得)
  - ・スマートフォンを使用した伊賀市来訪者(外国人観光客含む)へのアンケート調査 通年
  - ・メールアドレス登録者への地域観光情報メール配信 通年
  - ・他地域DMO申請事業者支援 通年
    - 他地域DMOへのスマホアンケートシステムの使用促進(貸出) 通年
    - 他地域 DMO のスマホアンケート分析(受託事業)明宝・信楽 通年
- ウ 業界別の合意形成会議の開催
  - ・伊賀上野DMOトップ会議 4年 5月 18日  
4年 11月 7日
  - ・推進 PT/担当者 WG の開催・運営 通年
  - ・市内の観光関連事業者への調査結果の情報共有 通年
- エ タビマエマーケティングデータ収集・分析
  - ・Google ビジネスプロフィールを活用したデータ収集・分析 通年
- オ 観光関連事業者実態調査
  - ・観光関連事業者等に対する景況調査の実施 ※商工団体に業務委託 通年

	カ 観光コンサルティング力の強化				
	・イベント企画等コンサルティング研修受講による構成機関メンバーのスキル向上				通年
(2)	人材育成・受入環境整備業務				
	ア 新商品・観光コンテンツ開発(観光まちづくり企画塾)				通年
	・忍くる・伊賀の朝霧 香音・お忍びサウナiga・竹灯りのアトリエ・コンテンツ情報発信				
	イ 多言語翻訳事業者(ネイティブライター)による地域資源の英語紹介文の活用				通年
	ウ JNTO認定「外国人観光案内所」登録に伴う受入環境整備				通年
(3)	情報発信業務				
	ア 観光情報サイト集約化、掲載内容見直し 「伊賀市の公式観光ガイド 伊賀イド」				通年
	イ 観光情報誌制作(特集版、本冊増刷)・配架業務				
	・特集版差込用情報誌「女子旅ドライブin伊賀」	30,000部		4年 8月	
	・伊賀市じゃらん	30,000部		5年 1月	
	・特集版差込用情報誌「伊賀で酒旅」	30,000部		5年 2月	
	・特集版差込用情報誌「山歩きマップ」 ※WEBのみ(令和5年3月発行)			5年 3月	
	ウ 海外エージェントとの商談				通年
	※2. (5) - (エ)、(カ)、(コ)のマレーシア旅行エージェントとの連携強化				
	エ 地域名産品等の情報発信、PRツールの作製				通年
	・オススメお昼ご飯処マップの作製	20,000枚			
	オ 市全域を網羅したデジタル観光マップの構築検討				通年
	カ その他(プロモーション等)				
	・「第2回三重県のいいもの・うまいものフェア」観光PRブース	近鉄上本町駅		4年 6月	
	・「三重県フェア イオンレイクタウンmori」手裏剣ブース	イオンレイクタウン埼玉県越谷市		4年 6月	
	・「ツーリズムEXPO JAPAN2022」三重県ブース	東京ビッグサイト		4年 9月	
	・「宿観光旅博覧会-宿フェス」三重県ブース	東京ビッグサイト		5年 2月	
	・巨大ガラポン「イガラPON!」の作製	※プロモーション・レンタルツール		5年 2月	
	・「三重県まるみえフェスタ」観光PRブース	JR大阪駅		5年 3月	
(4)	観光コンテンツ造成促進業務				通年
	ア 城下町体験プログラム整備事業				
	・城下町アプリ開発				
	①伊賀流バーチャル忍者クエストとの連携				通年
	・まちなか回遊事業の実施、周知・広報				
	①伊賀忍者道場	876組		4年 4月 ~	
	②伊賀流バーチャル忍者クエスト	30組		4年 7月 ~	
	イ 自然体験・広域回遊促進業務				通年
	・「忍びの里伊賀」創生事業による域内事業者の実証支援 採択3件				
	①「アインズ伊賀」と「Adoの森」プロジェクト	株式会社アイシス			
	②伊賀上野シティホテル「忍者ルーム」リノベーション	株式会社グリーンズ			
	③訪日外国人誘致ファミトリップ	株式会社三重旅行サービス			
	・教育旅行 3.0 プログラム造成支援				通年
(5)	その他				
	ア ・イガコレ観光EXPO2023!			5年 3月	
(6)	各種団体の協力				
	【視察受入】・一般社団法人グリーンクリエイティブいなべ(2/20)				

### 総括

主要観光施設・宿泊施設等の設置協力により、お客様によるスマホアンケート調査を実施し、様々なデータ収集を行った。そして「イガコレ観光EXPO2023」を開催し、市内の多様な関係者と取り組み内容・人材育成など情報共有等を行った。同時に観光客向けのイベントも開催し魅力の情報発信・メニュー提供を行った。  
また、事業推進体制の見直しや、情報発信・プロモーション、観光コンテンツ造成促進業務を推進や補助事業を展開し様々な取り組みに対して支援を行った。

## 13 会議

---

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| (1) 定時社員総会       |               |
| ア 令和3年度決算        | 4 年 6 月 24 日  |
| (2) 理事会          |               |
| ア 通常理事会（令和4年度決算） | 4 年 6 月 14 日  |
| イ 臨時理事会          | 4 年 12 月 9 日  |
| ウ 通常理事会（令和5年度予算） | 5 年 3 月 24 日  |
| (3) 監事会          |               |
| ア 令和3年度決算        | 4 年 6 月 8 日   |
| (4) 正副会長会議       | 通年            |
|                  | 4 年 7 月 27 日  |
|                  | 4 年 9 月 3 日   |
|                  | 4 年 10 月 25 日 |
|                  | 4 年 12 月 9 日  |
|                  | 5 年 2 月 19 日  |
| (5) その他会議        | 通年            |

### 総括

定時社員総会をはじめ各種会議を開催し、組織の方向性や事業の検討を適切に協議・審議した。